

箱崎まちづくり協議会だより



←「はこまち」のロゴです



自然豊かで、魅力あるまち「はこざき」

ー 1年間を振り返りました

昨年3月1日に箱崎まちづくり協議会として発足し、地域皆様のご理解とご協力によりアンケート結果を基に一年間活動を行ってまいりました。

しかし、コロナ禍でのスタートとあって事業取組に多くの支障があり、9月に襲来した台風9号・10号は過去あまり経験した事のない脅威で、自然災害の怖さと今後心配される異常気象に対する認識を改めて考えさせられました。このような中、現状を踏まえ当初計画の「将来に渡って自分達の地域は自分達で守り、安全で住みよい魅力ある地域づくり」を目指すため、以下の活動を行ってきましたので報告します。

1. 総務部会

○ **コミュニティバス事業** アンケートで「将来の生活で最も不安な事は」という問いに対し、特に多かったのが老後の交通手段でした。この問題を解消しようと、コミュニティバスへの取組を県内外から情報を集め、視察研修、実践に向けた聞き取りアンケート等を行いました。箱崎の交通空白地帯をなくすため、引続き強力に取り組んでいきます。



○ **広報誌(箱まちだより)の発行** 箱崎まちづくり協議会の活動状況等を少しでも紹介できればと考え、準備号と臨時号、1号～4号を発行いたしました。

今後は、地域づくり部会との連携により「地域お助け隊」の実現を検討していきます。

2. 子ども部会

○ **通学道路危険箇所調査及び整備** 通学路の危険箇所調査を実施しました。調査の結果、雑木の倒伏や道路側溝等不備 19 危険箇所が判明し、関係機関に改善を申し入れました。カーブミラーの整備及び設置は2ヶ所できましたが、横断歩道は、交通量や歩行者数が基準に満たないとことから実施に至りませんでした。また、箱崎幼稚園裏道路の伐採や片づけで子ども達も通れるように明るくなりました。

○ **野犬対策** アンケート調査でも多く寄せられていました。まち協開所当初より、吉崎市環境課に、ワナ等の設置をお願いして来ましたが、現在も設置中ですが現時点の実績は、諸津で4匹 本村5匹 江角4匹 計13匹が捕獲されています。

今後は、上記活動の再点検と実現、加えて子ども達の集える場所の確保・小山弥兵衛・鬼尻工房の実現・ふるさと誌の復刻版の発行等を進めていきたいと考えています。

3. 地域づくり部会

- **トレッキングコース(オルレ)の設定** 男岳山をはじめとする多くの宝を幅広く活かしたいと考えトレッキング（散策）コースの設定をしました。
芦辺港出発～谷江川～小山弥兵衛～箱小～女岳山～巢食い石～男岳山～白滝山～風力発電～諸津観音～石垣群(マチュピチュ)～少弐公園～壱岐神社 約18キロ
コース上の名所、男嶽神社・女嶽神社・巢食い石に「いわれの説明看板」を、作成しました。順路案内板の設置個所を決定、壱岐市観光連盟へ報告し、協力をお願いしました。現在、専門業者に、マップやパンフレット作成を依頼しています。

- **オリジナルTシャツの作成** 男岳山を拠点とした、箱崎地域専用PR用オリジナルTシャツ作成を進めています。今春までに販売につなげていく予定です。

今後は、トレッキングコースの整備を進めます。また、鬼凧工房や小山弥兵衛さんも含めSNS・HP等を充実させ、地域内外に幅広くPRを進めます。

4. 安心・安全部会

- **福祉活動** 老人会活動及びサロン活動への参加呼びかけをしました。参加者増をめざし、積極的な声掛け、事業費助成等を行いました。また、見守りも兼ねた移動販売で買物支援ができないか検討しました。見守りを兼ねる点で、掘り下げた取組みができないか、地域に特に密着されているJAと現在検討を行っています。

- **防災避難訓練** 箱崎地区の初の避難訓練をしました。地域の防災意識が大きく変わったのではないかと思います。また各公民館のご協力を頂き「非常持出袋」を地区内全戸に配布できました。

今後は、福祉活動充実と見守りを兼ねた活動、防災避難訓練の継続、総務部会と連携した取組を行います。



5. 産業振興部会

- **特産品の開発** 箱崎で作られ長年壱岐全島民を中心に愛され続けてきた「壱州みそ」は、製造者が高齢にて存続が厳しくなっています。そこで、まち協で継続に取り組む方向で検討を重ねています。昔からある、かから(サルトリイバラ)団子等の製造も検討を進めています。

- **箱崎中学校グラウンド跡地利用** 活用方法のひとつとして「昭和のまちづくり」を模索しています。尚、跡地及び藤棚の除草作業等を2回実施しました。

今後は、特産品開発を中心とした地域振興を進め、その上で必要な拠点づくりを目指して行きます。